



東和地域

Vol.01

学校再編だより

登米市教育委員会学校再編推進室

令和元年6月発行

TEL: 0220-34-2670

FAX: 0220-34-2504

Mail: gakkousaihen@city.tome.miyagi.jp

教育委員会では、これまで学校再編について、保護者や地域の皆様から座談会等を通して多くのご意見を頂いてまいりました。これらの意見等を踏まえながら、平成31年3月に「登米市立小中学校等再編構想」を策定し、今年度より、登米市の子供達のために学校再編の具体化について進めてまいります。

このお知らせは、登米市の学校再編についての検討状況等について、お知らせするためのものであり、今後も随時発行してまいります（市ホームページでもご覧いただけます。）。

学校再編に係る座談会を開催しました

5月15日から30日まで市内9町域で「学校再編に係る地域座談会」を開催しました。座談会には、小・中学校等の保護者や地域住民など合わせて236人が出席しました。

東和地域については、5月15日に東和総合支所にて開催し、48人の方が出席しました。

座談会では、再編構想の内容や今後の学校再編の進め方について、保護者、地域住民の方それぞれの視点から多くの意見を頂きました。

今後は、地域ごとに「学校再編準備委員会」を設置し、「地域別再編実施計画」の策定を進めていきます。

座談会で寄せられた主な意見（東和地域分）

Q 経費を削減するための再編なのか。児童生徒のための再編なのか。

A 経費について、施設管理費は減少するが、スクールバスの運行費が増額となるため、全体の経費としては増額となる地域も出る見込みである。単純に経費削減のためではなく、子供達の教育環境を充実させるための統合として考えている。

Q 教育委員会からの情報発信が不足している。

A 市広報紙やホームページなどを通して情報発信をしてきたが、十分ではないと感じている。今後設置する学校再編準備委員会の内容や学校再編の進捗状況などは、随時情報提供する。また、学校を通じて情報を発信するなど、より良い発信方法を検討していく。

Q 統合ありきで進んでいるが、統廃合せずにすむ方法はあるのか。

A 学校生活を進める上で児童・生徒数が少ないと活動が限られてくる。小規模が悪いというわけではないが、子供達がより良い学校生活を送れるよう、一定程度の児童・生徒数が必要であると考えている。児童・生徒数を増やすため各部署で取り組みは行っているが、全国的にも少子化の波が押し寄せてきている。根本的な改善に結びつかなければ、学校再編の実施について考えていかなければならない。

Q 同級生でないと多様性が生まれにくいという話だが、米川小学校は上下の学年が交流し多様性が生まれている。

A 小規模、大規模それぞれにメリット、デメリットがあるという前提に立った上での話なので、小規模だから横の関係が生まれにくいという「否定」ではないということを理解いただきたい。

学校再編の詳細は、市ホームページに掲載しています。

URL (<https://www.city.tome.miyagi.jp/kurashi/kosodate/kyoikuinkai/saihensebi/index.html>)

※ 右のQRコードからもアクセスできます。



学校再編準備委員会の設置について

教育委員会は、各地域の実情を踏まえた学校再編を進めるため、各地域に学校再編準備委員会（以下「準備委員会」という。）を設置します。

● 委員の構成

- 1 小中学校児童生徒の保護者の代表者
- 2 学校運営協議会の代表者
- 3 行政区長会等の代表者
- 4 未就学児の保護者の代表者

※ 広く意見を頂くために委員以外の方にも準備委員会への出席をお願いすることがあります。

● 活動内容

準備委員会では、「地域別再編実施計画」策定のために、次の事項について検討し、教育委員会と合意形成を図っていきます。

- 1 統合の実施
- 2 再編新校の位置
- 3 統合の時期
- 4 通学支援
- 5 その他必要事項

● 設置時期

前期計画の地域（東和、米山、南方、津山）は、今後、順次設置を行います。後期計画の地域（迫、登米、中田、豊里、石越）は、現段階ではまだ先の取り組みになりますが、前期計画の地域の進捗状況によっては設置時期が早まることがあります。



学校再編の進め方（概要図）

